



日本建築学会
建築文化週間学生ワークショップ
学生グランプリ審査員賞受賞

九州産業大学
諫見研究室

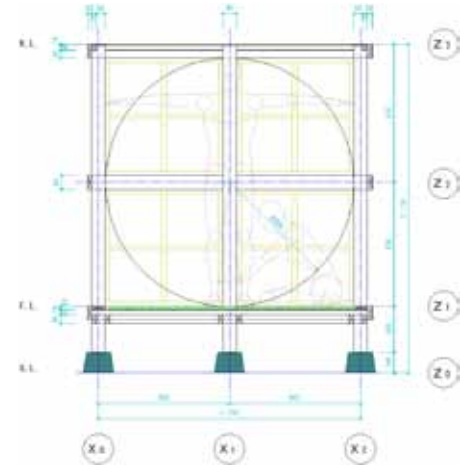
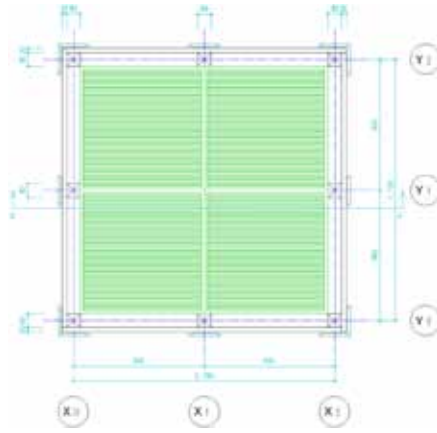
日本学術振興会
科学研究費研究成果
社会還元普及事業採択

一坪の茶室

諫見研究室は九州産業大学学修支援事業「小さな家を1/1で建てる」を実施しています。課題の「小さな家」とは小規模建築のことを意図しており、建築士ではない学生でも主体的に作品製作を行うことができます。作品は公共空間に実寸で建て、一般市民の利用を通じた外部評価を受けています。

住居・インテリア設計学科において、実際に家を建てる経験が有効な学修となることは言うまでもありません。このプロジェクトが設計志向にとどまらず、施工管理職・技術営業職志望学生のためのよりよい学修支援となるよう、教材開発研究に努めたいと思います。

最近の作品は、銀座通りで開催される「銀茶会」で使われる創作茶席「一坪の茶室」です。一辺を一間（けん）とした立方体の小規模建築で、壁4面と屋根に円窓が開いています。壁は葦簀（よしず）と障子で大都会の喧騒を遮り、天窓で切り取られた宇宙（そら）だけを仰ぎ見ることができるこの作品は、日本建築学会主催の学生グランプリ審査員賞を受賞しました。このプロジェクトを科目「卒業設計」の課題とした学生は「実際にものづくりをする中で多くのことを学びました。」と述べ、本学卒業後は志望した建設会社（総合建設業）の施工管理職に就きました。



左は平面図、右は断面図。縮尺は本稿をA4サイズ用紙に印刷する場合でどちらも1:50。作図時の縮尺は1:20。他に基礎伏図・床伏図・屋根伏図・立面図4面を作図。



面接合。施工時間短縮と施工難度の軽減。



躍り（にじり）口から這（は）って入室。



床工事。束・大引・根太・床板が見える。



見学者に作品解説。日本学術振興会行事。